

代表質問を終えて

自民党県議団

まず冒頭、緊急課題としての新型コロナウイルス対策について質し、「福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、関係機関と連携して医療提供体制の整備に取り組んでいるという回答を得ました。

次に、北九州空港の滑走路延伸について質問し、知事と議会が赤羽国土交通大臣に要望活動をした際の、地元関係者の意見等を踏まえつつ、費用対効果等について精査を進めていくとの認識を確認したところです。

また、予算措置された場合の今後の手続きと県の取り組みについて質し、これから国によって行われる整備方法等の技術的な検討、事業に対する地域住民などの理解の促進や円滑な合意形成を図るための住民生活等に、県として協力を行い、必要に応じて北九州市県議会をはじめ関係者の皆様と連携し、国による必要な予算が措置されるよう要望活動を行ってまいるとの回答を得ました。

また、日田彦山線の復旧復興について質し、添田町・東峰村の両首長と協議を行った上で、年度内に復旧の方向性について決断してまいりたいとの回答を得たところですが、現場での声を聴けていない知事の姿勢について批判したところです。

この他にも、「商工行政問題」「農林水産問題」「教職員の不祥事に対する所見と対策及び採用試験に対する評価」等について質しました。

提出された議案

令和2年2月定例会では議案87件が提出され、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

○予算議案 34件

- ・令和2年度福岡県一般会計予算
- ・令和元年度福岡県一般会計補正予算（第6号）など

○条例議案 25件

- ・福岡県スポーツ推進条例の制定について
- ・福岡県文化芸術振興条例の制定について
- ・福岡県専門医研修資金貸与条例の制定について
- ・職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の全部を改正する条例の制定について
- ・福岡県旅館業法施行条例及び福岡県公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県動物の愛護及び管理に関する条例及び福岡県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について など

○契約の締結に関する議案 8件

- ・包括外部監査契約の締結について
- ・工事請負契約の締結について など

○経費負担に関する議案 16件

- ・空港整備事業の経費の負担について など

○人事に関する議案 2件

- ・監査委員の選任について
- ・福岡県土地利用審査会委員の任命について

○その他の議案 2件

- ・第2期福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略の策定について
- ・福岡北九州高速道路公社定款の一部変更に対する同意について

可決された意見書・決議

可決された意見書

- 「労働者協同組合法（仮称）」の早期制定を求める意見書
- 水産業の体質強化を求める意見書
- 性犯罪に関する刑法規定の見直しを求める意見書
- 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書
- 被災者支援の充実を求める意見書

可決された決議

- 日田彦山線復旧問題に関する決議

民主県政県議団

冒頭、新型コロナウイルスに関し、亡くなられた方へのお悔やみと、感染者へのお見舞いを申し上げ、感染情報等の確かな開示、検査体制と診療体制の充実を図る必要性について知事に質しました。

また、朝倉市、東峰村をはじめとする被災地の早期復興とJR日田彦山線の鉄道での復旧等について強く訴えました。

さらに、災害発生時に県有施設を障がい者や高齢者を含め広く被災者の避難所として受け入れる体制を整える重要性を指摘し、前向きな対応を求めました。

県職員採用試験の実施にあたり、就職氷河期世代を対象とした特別枠を設けることと県職員の再就職支援を求めるとともに、増加し続ける児童虐待から児童を守るため県の児童相談所と市町村との更なる連携体制を進めるべきであると指摘したところ、いずれについても知事から前向きに取り組みの答弁を得ました。

また、福岡県を横断する国道201号の早期四車線化に取り組みの必要性を指摘したところ、国に働きかけていくとの答弁を引き出しました。

その他、教職員の業務量を削減するため、正確な勤務時間の把握、自校採点の廃止、研修の見直しの必要性を指摘したところ、教育長から業務改善に取り組みでいくとの回答を得ました。

公明党

私は、今回の代表質問に臨むにあたり、県政の課題を現場主義に徹して視察し、勉強し質問しました。

新型コロナウイルス対策は、一日も早い終息のため、知事には県民の生活に安心感を与える政策と情報発信をするよう質しました。

福岡県の水素研究が、世界の温暖化対策の大きな要素となっていることに誇りを持ちました。今後の異常気象による災害対策は、従来の想定を廃して対応すべきです。

知事は、糸島の発達障がいの支援プロジェクトにおいて、九大の研究で、早期発見の時期が18カ月で現れてくることが検証されたとして、その活動を評価。私達が10年来求めていた早期発見の時期を初めて明示され、今後の展開に期待する答弁となりました。

減塩対策では、今後高血圧学会と連携して県民の健康寿命を延ばしていくことが確認できました。誤嚥性肺炎対策では、知事自身が先進施設の現場に足を運ぶと答弁。ファミリーハウス設置支援では、一歩前進の兆しが見えてきました。ヨーロッパ進出支援、サイクルツーリズムの質問には、明るい前向きな答弁をいただきました。

最後の西新商店街の治安については、「サザエさんが住んでいる町」と言えるように警察と商店街、地域と一緒に頑張って頑張ります。

緑友会

知事の政治姿勢の冒頭では、新型コロナウイルス問題について取り上げ、切迫する感染拡大防止の対策と本県の危機管理体制の強化には、しっかりとした対処が必要であることを指摘しました。先行きの見えない不安が渦巻き、より深刻さが増しております。とりわけ、経済に及ぼす影響は計り知れないものがあり、本県の観光産業や宿泊税への影響とその対策について質しました。一日も早い終息を心から祈っています。

始めに、過去最大規模となった令和2年度の当初予算の編成方針と知事の所信表明の内容について、小川知事の所見を質しました。また、広域地域振興の観点から、宗茂再封400年にあたる今年の大河ドラマ招致活動の取り組みや県立図書館建設についても取り上げました。

農林水産問題では、農作業事故の防止対策や有明海のノリ養殖のスマート化、防災重点ため池の防災対策について尋ねました。

労働福祉問題では、障がい者雇用や働き方改革に伴う運送事業者の問題を取り上げた他、上下水道管の老朽化問題や環境問題など県政全般について知事の考え方を質しました。

警察問題では福田新警察本部長の着任の抱負とSNS等に起因する被害やサイバーパトロールの実施状況について尋ねました。